

【二】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

(高橋克徳・河合太介・永田稔・渡部幹『不機嫌な職場——なぜ社員同士で協力できないのか』より)

著作権の都合により
掲載いたしません。

設問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|-----|-----|---|-----|---|-----|---|-----|-----|---|
| ① | ソ害 | (ア) | 改ソ | イ | 開ソ | ウ | 基ソ | エ | ソ止 | () | ① |
| ② | コウ直 | (ア) | コウ番 | イ | コウ派 | ウ | コウ罪 | エ | コウ撃 | () | ② |
| ③ | 蔓 ^{まん} エン | (ア) | 亜エン | イ | 遅エン | ウ | 禁エン | エ | 犬エン | () | ③ |
| ④ | シユ旨 | (ア) | シユ段 | イ | シユ色 | ウ | シユ味 | エ | シユ長 | () | ④ |
| ⑤ | 団カイ | (ア) | 金カイ | イ | 面カイ | ウ | 巡カイ | エ | 誤カイ | () | ⑤ |

(二) 空欄 A ～ E に入る語句として適切なものを、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|------------------|---|--------------|---|---------------|---|-------------|-----|---|
| A | (ア) ところで | イ | なぜなら | ウ | たとえば | エ | かろうじて | () | ⑥ |
| B | (ア) すなわち | イ | その一方 | ウ | ともあれ | エ | そればかりか | () | ⑦ |
| C | (ア) 廃止 | イ | 速さ | ウ | 期待 | エ | 制度 | () | ⑧ |
| D | (ア) 組織づくり | イ | 地域づくり | ウ | ものづくり | エ | コネづくり | () | ⑨ |
| E | (ア) 仕事の成果に見合った評価 | イ | 仕事の成果とは異なる評価 | ウ | 仕事の成果と人格による評価 | エ | 仕事の成果の過小な評価 | () | ⑩ |

(三) 傍線部 a と同じ意味・用法の「に」が用いられている文を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 [11]

ア ただちに|出発する。

イ ここに置いたはずなのに|財布がない。

ウ お皿に|料理を盛り付ける。

エ 気づくのに|時間がかかった。

(四) 傍線部 b が指している具体的内容として、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 [12]

ア 成果に追われてストレスを抱える従業員が増え、生産性が低下した。

イ 各人が協力して業務に取り組みようになり、生産性が向上した。

ウ コスト削減で生産性が向上した。

エ 仕事の範囲を明確にすることにより、成果を残せない無駄な業務をする人が減った。

【三】 次の文章を読み、設問に答えなさい。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

著作権の都合により掲載いたしません。

(今井むつみ『ことばと思考』より)

設問

(一) 傍線部①～⑤と同じ漢字を含む熟語を、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|---|------|-----|------|---|------|---|------|---|------|-----|----|
| ① | ソ 朴 | (ア) | ソ 開 | イ | 質 ソ | ウ | ソ 品 | エ | 起 ソ | () | 16 |
| ② | 熟 リヨ | (ア) | 思 リヨ | イ | リ ヨ行 | ウ | 捕 リヨ | エ | 伴 リヨ | () | 17 |
| ③ | ヒ ン繁 | (ア) | ヒ ン出 | イ | 上 ヒン | ウ | ヒ ン困 | エ | 来 ヒン | () | 18 |
| ④ | 枚 キヨ | (ア) | 根 キヨ | イ | キ ヨ人 | ウ | キ ヨ年 | エ | キ ヨ手 | () | 19 |
| ⑤ | ス イ論 | (ア) | ス イ進 | イ | ス イ飯 | ウ | ス イ平 | エ | ス イ直 | () | 20 |

(二) 空欄 A ～ E に入る語句として適切なものを、それぞれ選択肢から一つずつ選び、その記号をマークしなさい。

- | | | | | | | | | | |
|---|--------------|---|----------|---|----------|---|----------|-----|----|
| A | (ア) にわか | イ | そつと | ウ | たまに | エ | ようやく | () | 21 |
| B | (ア) そこで | イ | つまり | ウ | ともあれ | エ | それでも | () | 22 |
| C | (ア) 客観的 | イ | 具体的 | ウ | 包括的 | エ | 主体的 | () | 23 |
| D | (ア) 情報 | イ | 行為 | ウ | 手段 | エ | 範囲 | () | 24 |
| E | (ア) 言葉と世界の関係 | イ | 言葉と人類の関係 | ウ | 言葉と発達の関係 | エ | 言葉と思考の関係 | () | 25 |

(三) 主旨を変えずに傍線部 a を言い換えた表現として、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 26

- ア ことばは、世界を無数の特徴あるものに分ける。
- イ ことばは、世界を同じ種類の集まりに分ける。
- ウ ことばは、世界に存在する個体を無数に分ける。
- エ ことばは、世界に存在する動作を無限に分ける。

(四) 空欄 X ～ Z に入る言葉の組み合わせとして、適切なものを選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 27

- | | | | |
|-----------|---|---|---|
| | X | Y | Z |
| ア 同じモノ | | | |
| イ モノのカテゴリ | | | |
| ウ カテゴリ | | | |
| エ 同じモノ | | | |

(五) 本文中の [I] ～ [V] のうち、次の一文が入るべき適切な場所を選択肢から一つ選び、その記号をマークしなさい。 28

ことばは世界への窓である。

- ア
[I]
- イ
[II]
- ウ
[III]
- エ
[IV]

(六) 次の各文のうち、本文の内容と合致しないものを一つ選び、その記号をマークしなさい。 [29]

ア 我々は、日常生活で特に意識することなく、言葉を通して世界を認識したり、物事を思考したりしている。

イ 我々が使用している動詞は、無限に存在する動作をある意味の基準でカテゴリー化して整理する働きをしている。

ウ 世界には極めて多くの言語があるが、世界をどのように切り分けていくかについては、言語によって大きく変わらない。

エ 言語間の違いが思考の違いに影響を及ぼしているか、言語の違いと思考の違いを同義に扱えるかどうかは科学的な実験による裏付がない。

【三】 次の設問に答えなさい。(解答は記述問題用の解答用紙に記入すること。)

左記の例文は、「コンビニエンスストアの二十四時間営業は、廃止すべきでない」という意見に対して、賛成の主張を述べた文章である。これにならって、この意見に対して反対の主張を述べた文章を作成せよ。

【例文】

私はこの意見に賛成である。なぜなら、食品や日用品を販売している店が開いている時間に仕事などで買い物をすることができない人が、夜に自分の予定に合わせて気軽に買い物ができる場所が必要だからである。(九六字)

なお、答案は解答欄の形式に従うものとし、「なぜなら、」に続けて六〇字以上一〇〇字以内(解答欄にすでに記載済みの文字数も含む)で記述すること。

(問題終わり)